FUKUOKA
TRIATHLON 2019

競技要項

CONTENTS

003 開催概要
004 前日選手受付
競技説明会 会場案内
005 当日スケジュール
006 コースマップ
競技コース全域 MAP
トランジションエリア MAP
007 SWIM コース MAP
008 BIKE コース MAP
RUN コース MAP
009 レース上の注意事項
010 競技配布物
012 再発行・QR コード
013 大会前日までに
準備しておくべきこと
014 競技規則
018 選手ナビゲーション
前日
019 当日
当日詳細
022 危険ポイント案内
024 駐車場案内
025 MEMO
026 SPONSER

開催概要

開催趣旨

2017年に初めて開催された福岡トライアスロンは、「産･学･官」と地域社会を結びつけることを主たる使命とし、地域の皆様のご協力の下に開催することができました。また、継続開催することで地域社会の振興や競技の普及に尽力致します。

2019年大会ではノーマライゼーションを掲げて、パラボランティアとともに「パラプロジェクト」を新たに立ち上げました。

【誰もが住み慣れた地域で, 心身ともに健康で自分らしく暮らせる,「ひと」も「まち」もどちらも幸せになれる福岡】

そして、全ての人が平等である社会の実現の一助となることを目指します。

開催概要

大会名称	福岡トライアスロン2019
開催期日	2019年6月30日(日)　07:55～13:30 ※前日6月29日(土)は受付、競技説明会、前夜祭
開催地	福岡県福岡市東区一帯　(大会本部:国営海の中道海浜公園　光と風の広場口周辺)
競技内容	【スタンダードディスタンス:51.5㎞】 スイム:1.5km／バイク:40km(実測44km)／ラン:10km ※スイム:750m×2周回／バイク:志賀島･西戸崎×2周回／ラン:約5km×2周回
記録･計測	ネオシステム
主催	福岡トライアスロン大会実行委員会
主管	福岡県トライアスロン連合
後援	福岡市、福岡県、福岡商工会議所、九州経済連合会、博多21の会、福岡青年会議所、福岡県中小企業経営者協会連合会、アビスパ福岡、福岡県専修学校各種学校協会、公益社団法人日本トライアスロン連合、NPO法人福岡市障害者関係団体協議会、テレビ西日本
協力	福岡みらい病院、九州産業大学、福岡女子大学、志賀商工会、西戸崎校区自治協議会、志賀島校区自治協議会、勝馬校区自治協議会、JTU九州ブロック協議会、志賀島･海の中道サイクルツーリズム協議会、福岡市サイクリング連合、台湾厚徳会、社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会、全国柔整鍼灸協同組合、和白病院
特別協力	ザ･ルイガンズ　スパ&リゾート
協賛	福岡トヨタ、三和シヤッター工業、JWAVE、福岡ロジテム、九州電力、QTnet、竹井機器工業、福岡みらい病院、西戸崎開発グループ、FORUM、ユニバーサルスポーツ財団、福岡県中小企業経営者協会連合会、サニクリーン九州、三好不動産、ふくや、新日本製薬、アーカイブティップス、カフェ･カンパニー、ライフフィットネス、ビジネスリファイン、GARMIN JAPAN、アイ広告社、米田建設、福岡地所、福岡外語専門学校、九州産業大学、九州栄養福祉大学、田中会、セイコーメディカルブレーン、にしけい、九州風雲堂、コリンジャパン、リベラルアーツ、スリーアール、クリスマスマーケット、ミカサ、増田石油、はたなか、博多の森不動産、オーレック、アイ･ピー･ピー、野間薬局、福岡クリーン産業、イシカワ、CASE、松山建設、セイワパーク、トライアンド、モーブル、西日本鉄道、九州旅客鉄道、西部ガス、西日本シティ銀行、福岡銀行、松本組、博多イブニングロータリークラブ、DIC学園、ニプロ、ヴェントゥーノ、トクスイコーポレーション、九州自動車リース、池田歯科医院、丸松セム、三幸学園、国際学園、妹尾産業、英進館、全教研、未来図建設、匠、国際先端検診機構、やずや、ジンマーバイオメット、イワイスポーツサイクル、スポーツアロマ福岡チーム、CEEPO、伊藤超短波、itoi x
オフィシャルサプライヤー	ペプシコーラ、愛知電子工業、ホームランシステム、日本ストライカー、花屋ひより、安田建物管理、南国フルーツ
メカニックサポート	イワイスポーツサイクル、サイクランドシライシ、正屋
スペシャルサンクス	テレビ西日本、味の素、スポーツクラブNAS、2XU
地元協力	海鮮浜焼・七輪焼肉いーすと、あずま家、割烹旅館こみね、SHOP ヒロ、浜幸家、まさご屋、満帆荘、和カフェ、上野市兵衛商店、MEGANE CURRY、シカシマサイクル、志賀海神社、佐川急便株式会社、西鉄国際ビジネスカレッジ、福岡リゾート&スポーツ専門学校、福岡こども専門学校、福岡医健・スポーツ専門学校、福岡中失難聴者支援福祉協会、福岡市視覚障害者福祉協会、福岡市立 清水ワークプラザ、福岡市立 博多障がい者フレンドホーム、福岡市立 ふよう学園、福岡大学病院　喉笛会、明日へ向かって、箱崎翔店、野の花学園グループホーム東、グループホーム轍、共同生活支援住宅さいかい、福岡コロニー、はくちょうの会、福岡ひまわりの里、ひまわり園、福岡ジョブサポート、わたつみの里、ひまわりらんど、FukuokaDANDELION、金隈病院、訪問看護ステーション吉塚、新吉塚病院、貝塚病院、小倉リハビリテーション病院、戸畑共立病院、武蔵ヶ丘病院、桜十字福岡病院、東福間病院、浜の町病院、おきなの杜、小波瀬病院、香椎丘リハビリテーション病院、福岡リハビリテーション専門学校、麻生リハビリテーション大学校、いんちょささき整骨院、かなもり整骨院、グッド鍼灸整骨院、やすらぐ整骨院、令和整骨院、大福はり・きゅう整骨院、アンダンテ整骨院、やわらぎ鍼灸整骨院　香稚店、彩整骨院、こうじや整骨院、柑堂はりきゅうつぼ治療院、えがお整骨院、リボーン鍼灸整骨院、ひでしま整骨院、徳幸鍼灸整骨院、もりの木整骨院、赤坂整骨院、赤坂整骨院　栄町店、ありあり整骨院、のがみ整骨院、さくら咲く整骨院、たかこ鍼灸整骨院、湯川整骨院平和通り本院、HBC 整骨院　整体院　八代院、くろせ整骨院、大里東やわらぎ鍼灸整骨院、優はりきゅう整骨院、キラリ整骨院、ちはやふるかしい21 の会、Seiji Ito、

前日選手受付／競技説明会 会場案内

FUKUOKA TRIATHLON 2019

6月29日（土） 競技説明会会場 MAP

駐車場：海ノ中道駅口駐車場

※事前にお送りした「前日駐車券」をお持ちください

時　間	内　容	会　場
11：00～16：30	大会受付・支給物配布・競技説明会受付	ザ・ルイガンズ　スパ&リゾート
15：00～	競技説明会 ①回目（初心者は出来るだけ①にご参加ください）	
16：00～	競技説明会 ②回目	
16：30～	競技説明会 ③回目	
17：30～	前夜祭受付	
18：00～19：30	前夜祭	

注意

※大会参加にあたっては、競技説明会への出席は必須です。受付時にお渡しするアンクルバンドで出席を確認いたします。いずれかに必ずご出席ください。競技説明会を受けてない選手は、いかなる理由があっても大会当日はレースに出場できません。

※アンクルバンドは、競技説明会の出席の確認をはじめ、競技開始となる、入水チェックから最終フィニッシュの記録まで全ての競技を通して必要となります。

※30日（日）、コース会場の周辺全体で交通規制が実施されます（7：30～11：00）。
時間に余裕を持ってお越し下さい。（当日お車でお越しの方は受付時にお渡しする「当日駐車券」を忘れないようにしてください。）

当日スケジュール

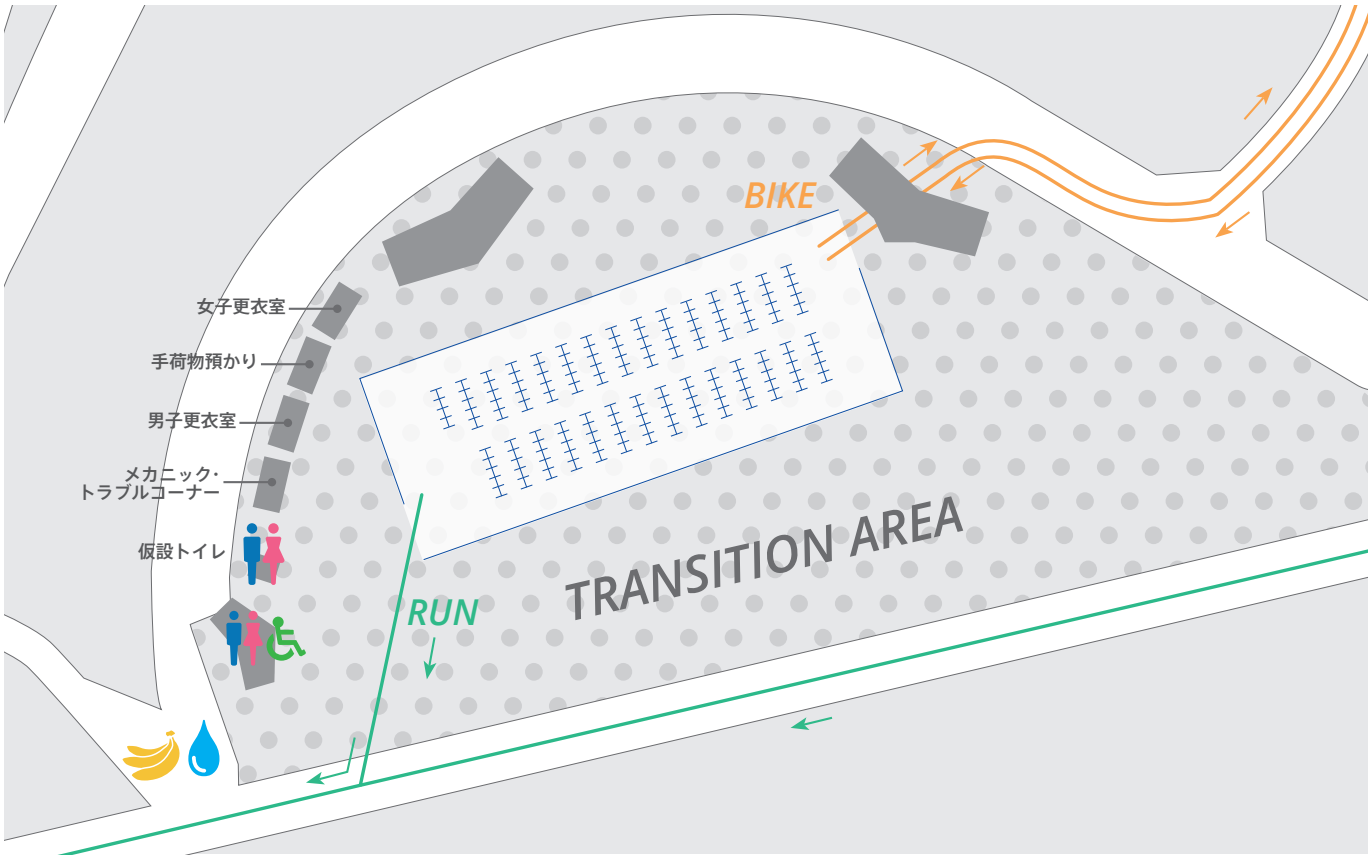
6月30日（日） 大会当日

時　間	内　容	場　所
05：30～07：25	トランジションエリアオープン	海の中道海浜公園／光と風の広場
07：30～	交通規制開始	西サイクリングセンター口～志賀島一帯
07：20～07：35	スイムコース試泳	海の中道海浜公園／博多湾側海岸
07：40～	開会式	
07：55～	第1ウェーブスタート	
07：57～	第2ウェーブスタート	
07：59～	第3ウェーブスタート	
08：01～	第4ウェーブスタート	
08：03～	第5ウェーブスタート	
08：53	スイム制限時刻	
09：03	バイクスタート制限時刻①	海の中道海浜公園／光と風の広場 （トランジションエリア･乗車ライン）
09：15	バイク制限時刻②	西サイクリングセンター口　※3.9km地点
10：00	バイク制限時刻③	西サイクリングセンター口（1周目終･2周目始）※22.2km地点
10：15	バイク制限時刻④	志賀島入口（往路）※26.6km地点
10：40	バイク制限時刻⑤	志賀島入口（復路）※36.1km地点
10：50	バイク制限時刻⑥	青少年海の家入口 ※39.7km地点
11：00	交通規制解除	西サイクリングセンター口～志賀島一帯
13：03	ラン制限時刻	海の中道海浜公園内特設コース
13：30～	表彰･閉会式	海の中道海浜公園／光と風の広場（表彰ステージ）

コースマップ

競技コース全域 MAP

トランジションエリア MAP



コースマップ

SWIM コース：1.5km　海浜公園南側博多湾海域　750m ×２周回

時　間	スタート
07：55～	第１ウェーブ
07：57～	第２ウェーブ
07：59～	第３ウェーブ
08：01～	第４ウェーブ
08：03～	第５ウェーブ
08：53	スイム制限時刻

●スタートラインは 30m を予定しております。

●スイムスキップはスイムエリアから行います
①8:30
②8:50　２段階

●ウェーブ毎にスイムキャップの色分けをする予定です。（現在調整中）

コースマップ

BIKE コース：40km（約 44km）　西戸崎～志賀島一帯（志賀島２周回）

RUN コース：10km　国営海の中道海浜公園内特設コース　5km ×２周回

レース上の注意事項

スイム

●スイムキャップを重ねてかぶることは可能ですが、必ず大会で支給したスイムキャップを一番上にかぶるようにしてください。
●第１～第５ウェーブに分かれてスタートします。予めご自身のウェーブを確認し、間違えないようにしてください。
※ウェーブ毎にスイムキャップの色分けをする予定です。（現在調整中）
●本大会は、ウェットスーツ着用を義務としています。
●トライアスロン用、またはスイム用のウェットスーツ（厚み５mm以下）を必ず着用するようにしてください。
●スイムスーツでのウェットスーツ代用は認められません。
●ウェットスーツのゴム生地製ヘッドキャップの着用を認めます。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上にかぶるようにしてください。
●大会側でワセリン等の用意はありません。
●今大会はオープンウォータースイムです。クリアに近いレンズカラーのスイムゴーグルの使用を推奨します。
●スタートは、海上からのフローティングスタートとなります。泳力に不安のある方は、入水スロープ近くの足の届く浅い付近でスタートまで待機することができます。

トランジション

●バイクラックにレースナンバーが記載してあります。決められた自身のエリアのみご使用ください。
●バイクはラックの No が見えるほうに頭を向けて設置ください。向きが違うとペナルティーの対象です。

バイク

●トライアスロン専用バイク、またはロードレーサーのみ出場可。（JTU 競技規則に準ずる。）
●エアロバーの装着、後輪のディスクホイールの使用は可能です。（JTU 競技規則に準ずる。）
●固定ギア（ピスト）バイクでの出場はできません。また、前後輪にブレーキの装着がないバイクでの出場はできません。
●会場でのバイクの車検はありません。事前に専門ショップなどで点検・整備される事を推奨します。 大会前日はザ・ルイガンズに、大会当日はトランジションエリア付近にてメカニックサービスを実施致しますが、簡易な整備のみの対応となります。（バイクメカニックサービス有料：１回 ¥500）
●バイク預託、バイクチェックイン時には、ストラップの状況を含めヘルメットチェックを実施します。
● JTU 競技規則に準じたバイク競技用ヘルメットのみ使用可。エアロタイプのヘルメットも使用可能です。
●ヘルメットのストラップに緩みの無いよう、また、レースナンバーシールを、ヘルメットの前面、バイク左側にレースナンバーが確認できるようバイクフレームもしくは、シートピラーに貼りつけます。
●サイクルコンピューターの装着を推奨します。
●本大会は周回コースです。計測チップによる機械計測を行いますが、リアルタイムでそれぞれの選手にお伝えする事はできません。周回数は各自で把握してください。（周回不足は未完走となりますのでご注意ください。）
●バイクの乗り降りは決められた場所（乗車・降車ライン）にてお願いします。（ペナルティー対象）
●バイクスタートの関門は乗車ライン９：03 となっています。
●バイクのスタンド、泥除け、ミラー、ライト等は、あらかじめ外してください。

レースナンバー

●バイク競技時には後ろから、ラン競技時には前からレースナンバーが見えるようにしてください。
●競技の安全管理上、安全ピンの使用はできません。**レースナンバーベルトの使用をお願いします。**
●レースナンバーの裏面には必ず事前に緊急時の連絡先を記入してください。（家族など本人以外の連絡先）

シューズ

●シューズを履かずに裸足のままバイクやラン競技を行うことは禁止です。
●バイクシューズは専用のものでなくても構いません。

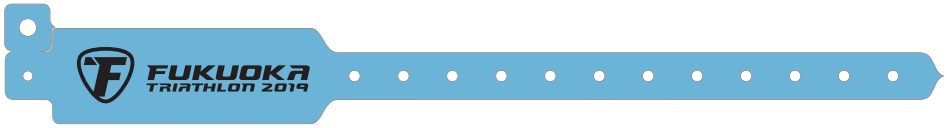
レースウェア

● JTU 競技規則により、前面部にファスナーの付いたウェアの着用は原則禁止です。
●上半身裸になったり、ウェアを片掛けにして競技を行うことは禁止です。
●トランジションエリアに更衣室を設けています。各種目の切り替え時に着替えを行うことができます。
●前ファスナーの付きのウェアを着用する場合は、必ず前ファスナーを閉じて競技するものとし、下ろした状態や片掛けで競技を継続すると、ペナルティの対象となります。また、競技中に限らず、屋外での更衣や、上半身裸のまま移動することを禁止します。

競技配布物

① リストバンド（1 人 1 本）　※計測用ではありません

●競技説明会会場、海浜公園入場、トランジションエリアへの入場時、重要な識別リストバンドとなります。
●大会期間中【29 日 (土)、30 日 (日)】の 2 日間は、レース中を含め常に手首に装着してください。
●リストバンドは専用の留め具式になっており、一度装着すると簡単には外れる事はありません。
●万が一紛失などした場合は、次ページのとおり再発行いたします。



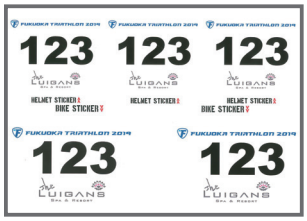
② レースナンバーカード × 2 枚　※安全ピンは使用禁止です。

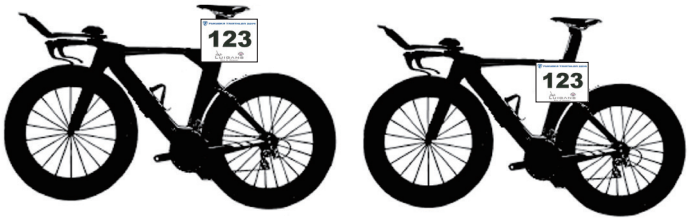
●大会当日はレースナンバーをレースナンバーベルトに装着してレースに出場してください。
●レースナンバーの裏面に、レース当日の緊急時連絡先を必ず記入してください。（本人以外の連絡先）
●本大会では**安全ピンの使用が禁止**となっていますので、**必ずレースナンバーベルトをご用意下さい**。

③ レースナンバーシール × 3枚（ヘルメット、バイク、トランジションバッグ）

●レースナンバーが記載されたシールです。
　トランジションエリアへのバイクチェックインまでに必ず貼り付けてください。

【貼り付け箇所】
1、ヘルメットの正面
2、バイクの左側からレースナンバーが確認できるようバイクフレームもしくは、シートピラーに貼りつけます。
　※正しい位置に貼り付けられているか、トランジションエリアの入口で審判員がチェックを行います。
3、トランジションレースナンバーシール
　トランジションバッグに荷物入れ、袋にレースナンバーシールを貼り、荷物預かりテントへ預けてください。





④ ボディナンバーシール × 2 枚

● 本大会では、「ボディナンバーシール」を用います。（できるだけ、自宅・宿舎を出る前に貼っておきましょう。）

⑤ アンクルバンド × 1 本

●計時及び着順の判定は全てアンクルバンドにより行います。
●アンクルバンドは足首に装着してください。
●アンクルバンドは前日の選手説明会でお渡しします。
●ロック後は、スイムエリアから出られません。
●アンクルバンドが途中ではずれてしまった場合、また競技中、不可抗力で紛失の場合は、速やかにお近くの係員に申し出てください。
●アンクルバンドは、ランフィニッシュ後直ちに回収します。
（紛失の場合は、実費を請求します。）
●アンクルバンドは右記写真のようにお好きな方の足首に着用ください。
●リタイアの場合は、審判員等に渡し、リタイアする旨を伝えること。

アンクルバンドの装着方法

①銀色の面がおもて、黄色いジャージ面がウラ（肌に接する方）となるように、左右どちらかの足首にピッタリと巻いて下さい。
②安全の為、**付属のゴムバンドをその上から装着**してください。
③競技中は外さず、競技終了後は必ず係員までお返し下さい。

⑥ スイムキャップ

● ウェーブ毎にスイムキャップの色分けをする予定です。（カラーは現在調整中）
第１ウェーブ
第２ウェーブ
第３ウェーブ
第４ウェーブ
第５ウェーブ

⑦ トランジションバッグ　⑧ 大会オリジナル T シャツ　⑨ 大会公式プログラム

● 福岡トライアスロン 2019 に参加されたみなさまがもらえるオリジナルグッズです。

⑩ 駐車券

● 大会当日の駐車券は前日の受付時にお渡しいたします。
● 駐車券のお渡しは、エントリー時に車利用を申告された方のみとなります。
申告されていない方で車を利用される場合は有料となります。
※別途ご相談ください

⑪ 健康チェックシート

● HP より事前にダウンロードして記入を済ませ、競技説明会受付時に提出することを推奨いたします。
● 受付にて配布も致しますので、その場で記入して受付に提出してください。

再発行・QR コード一覧

①②③④の再発行について

万が一①リストバンド ②レースナンバー ③レースナンバーシール ④ボディナンバーシールを紛失された方は
以下のとおり再発行いたします。（①②③は全て手書きでの発行となります。）

▶ **再発行日**　6 月 29 日（土）受付会場（ザ・ルイガンズ）
　　6 月 30 日（日）大会会場本部（海の中道海浜公園 光と風の広場　実行委員会大会本部）

▶ **再発行に必要な物**

● JTU 会員カード　●参加通知書　●レースナンバー　●リストバンド

上記がない場合　→ ○免許証　○保険証など　○身分が証明できるもの。

※本人確認を行います。必ず持参してください。　※ボディーナンバーシールは再発行いたしません。マジックでナンバーを両腕に記載します。 ※レースナンバー、リストバンド、レースナンバーシールの再発行は有料です。

大会速報・完走証・公式 HP ／ QR コード

大会速報
選手のポイント通過や FINISH の時間をリアルタイムで掲載！

完走証
自分のレースナンバーを入力して記録証を GET しよう！

公式HP
大会の様子や地元情報など、最新情報を随時更新！

公式 LINE@
お友達になって㊙情報 GET!

大会前日までに準備しておくべきこと

FUKUOKA TRIATHLON 2019

健康管理

●大会参加に際しては、充分トレーニングし、事前に健康診断を受診するなど、体調には万全の配慮をしたうえで参加してください。
●前日の飲酒は控え、睡眠を充分にとってください。体調が悪いと感じたら、無理をせず参加を辞退してください。体調や心身の自己管理はレースを行う上でとても大切です。
●主催者は、疾病・傷病・その他の事故に際し、応急処置のみを行いますが、それ以上の責任は負いません。
●安全管理上、審判員または医師・看護師・救護スタッフ・大会関係者がレース続行不可能と判断した場合は、競技者に対して競技を中止させることがあります。

コース・ルール等競技内容のチェック

●あらかじめ、コース図を確認し、自分自身が走行するルートやトランジションの位置、周回数等を把握しておきましょう。
●レースに出場するための注意事項を事前に把握しておきましょう。
●大会前日の競技説明会への参加は必須です。説明会に出席されていない方は競技に出場できません。

会場までのアクセスルート、時間の確認

●大会当日、会場周辺は大変混雑が予想されます。交通規制もあります。
（西サイクリングセンター口～大岳～志賀島外周／ 7:30 ～ 11:00 車両通行止め）
●お時間に十分余裕を持って会場にお越しください。受付時間に間に合わない場合は、出走できません。
●スタート前に当日選手受付、バイクチェックイン等を必ず行っていただきます。当日の流れを事前に把握してください。

チェックリスト		チェック
スイム	キャップ	
	ゴーグル	
	ウエットスーツ	
	耳栓（希望者のみ）	
バイク	ヘルメット	
	レースナンバーベルト	
	バイクシューズ	
	サングラス（希望者のみ）	
	くつ下	
	足ふきタオル	
	サイクルボトル (最低 1 個)	
	その他補給食	
	サイクルコンピューター	
	時計	
ラン	ランニングシューズ	
	レースナンバーベルト	
	帽子	

チェックリスト		チェック
事前準備	健康保険証コピー	
	健康チェックシート	
	ナンバーシール / メット 正面	
	ナンバーシール / バイク 左	
	ボディナンバーシール (当日、トランジションに入る前までに貼っておく)	
あったら便利	パンク修理・工具	
	雨具カッパ	
	レスチューブ（事前購入制度あり）	
	帽子	
	サングラス	
	補給食	
	時計	
MEMO		

競技規則

◆競技ルール

1. 本大会は、公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則（JTU ルール）、一部国際トライアスロン連合競技規則（ITU ルール）及び以下に定める「福岡トライアスロン」競技規則に従い競技を行う。
2. 本大会競技規則に定めない事項、事象が生じた場合は、大会実行委員会または技術代表・審判長がその取り扱いを決定する。
3. 安全第一を優先し、気象条件、その他の条件等により、競技性及び安全が充分に確保できないと主催者が判断した場合には、競技開始以前または競技中であっても、競技内容の変更または競技の中止を行うことができる。

◆共通規則

1. 選手及び随行者は、社会人、スポーツマンとして節度ある態度で本大会に参加する。違法駐車、一般車両・通行人への通行妨害、ゴミの投棄及び違法キャンプの禁止、バイク乗車時のヘルメット着用、夜間の騒音等に十分注意し、開催地の地域住民やボランティアとの調和を図る。
2. 大会で定められた時間を順守し、遅れる場合は事前に連絡する。連絡なき場合は失格となることもある。
3. 選手は、大会規則及び道路交通法の定める交通規則とコースを理解して大会に参加する。コース離脱や交通違反に対する責任は、選手個人が負う。
4. 選手は、大会前日に健康状態をチェックした健康チェックシートを提出しなければならない。
5. 酒気帯びや体調不良の状態で競技をすることはできない。酒気帯びの恐れがある選手に対しては呼気検査を求めることがあり、検査の結果、アルコール分が検出されれば競技に参加できない。
6. 選手は、規則で定められたウェア、競技用具を使用しなければならない。
7. 前ファスナー付のレースウェアは原則使用できない。もし使用する場合は、必ず前ファスナーを閉じて競技するものとし、下ろした状態や片掛けで競技を継続すると、注意、警告、失格など、ペナルティを科す場合がある。また、競技中に限らず、屋外での更衣や、上半身裸のまま移動することを禁止する。
8. 仮装は認めない。
9. レースナンバーは、バイクでは背面、ランでは前面に取り付け、めくれあがらないように取り付けること。折り曲げや変造は禁止する。レースナンバーベルトの使用を認める。
10. 大会期間中、指定場所以外での物（ゴミ、ボトル、競技用品を問わず）の投棄を禁止する。ただし、競技中にあっては、スタッフに一声掛けて受け取りを依頼することを許容する。
11. 制限時間及び関門時間を設ける。スイムの制限時間は、最終ウェーブスタート 50 分後（8：53）、バイクは、バイクスタートの制限時刻を乗車ライン 9：03 とし、p005 の通り関門を設ける。各制限時間・関門に通過でなかった選手は DNF（Do Not Finish）となる。制限時間に関わらず競技続行が困難、競技運営に著しく支障があると主催者及び審判員が判断した場合、その選手に対して DNF を宣告する。DNF 及び自主リタイヤ選手は審判員に申告し、アンクルバンドを返却する。その後の行動は審判員の指示に従うこと。
12. フィニッシュ地点以外でのアンクルバンドの返却は、必ずスタッフであることを確認したうえで、スタッフに直接返却すること。紛失した場合は実費を弁償とする。
13. 小型カメラ、携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーの使用は禁止する。ただし、スマートフォンは、距離計測器としての使用のみ認めるが、距離計測器以外としての使用は禁止する。使用した場合はペナルティの対象となることもある。
14. JTU ルール、福岡トライアスロンルールおよび、社会的マナーに違反した選手は、審判員の裁量によりタイムペナルティを科せられる場合がある。

◆車検・バイクコース下見・競技説明

1. 車検は実施しない。競技用具の整備は各自の責任であり、著しい整備不良や規格違反と判断された場合、競技に参加できない場合がある。革新技術等の使用は、事前の了承を必要とする。
2. バイクは、フリーホイール式で前後ブレーキを装着したロードレーサー（ブルホーンハンドル仕様のＴ．Ｔ．バイクも含む）を基本とする。特に安全性が認められないバイクは、大会実行委員会が判断して参加を認めない場合がある。
3. サイクルコンピュータ（走行距離計測器）装着を推奨する。
4. ヘルメットは安全基準を満たしたものを正しく着用する。改造、ひび割れ、古いタイプのヘルメットの使用は認めない。
5. 大会当日、会場付近やバイクコースにおいて、バイクでのウォーミングアップ及びバイクコースの試走は出来ない。ラン及び徒歩によるバイクコース下見を推奨する。ラン及び徒歩による下見は歩道を使用し、交通ルールを順守して安全に注意すること。大会前日にバイクでコース下見を行う際は、交通ルールを順守し、地域住民の生活や地域事業者の業務遂行の妨げにならないように節度を持って行うこと。
6. 競技説明会への参加を義務とする。競技説明会を欠席したものは競技に出場できない。

◆スイム競技　スイム制限 08:53　※最終ウェーブスタートから 50 分後

1. スイム競技について、オープンウォーターで実施することから、経験不足や泳力に自信がないため、不安となった場合、事前に申告した者は、バイク競技からのスタート（スイムスキップ）を認める。また、１周目を終えた後、同様に不安がるものは審判員に申告の上、２周目をスキップすることを認める。ただし、いずれの場合も記録は参考記録となる。（バイク競技は８：30 以降に審判員の指示に従い､スイム会場からのスタートとする。バイク競技以降の制限時間及び関門時間は「共通規則 11.」と　同じとする）
2. スイムスキップ及びリタイアについてはマーシャルに申告の上スイム計測地点より西側の待機場所にて所定の時間（8:30 と 8:50 のスキップ時間）まで待機お願いいたします。マーシャルの指示に従って､スイム計測マット通過後にトランジションエリアへ向かってください。なお、リタイア者についてはスイム計測マット通過後その場でアンクルバントを回収いたします。
3. スイムではウエットスーツ着用を義務とする。これに反した場合は競技に参加できないか失格とする場合がある。ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍測定器の着用を認める。
4. スタートエリアには必ず入水チェック（機械測定）を受けて入場する。
5. 危険回避等でコースロープ、ブイ及び監視船等につかまって休息できるが、移動することは出来ない。
6. 救助を必要とする場合は、競技を停止し、片手を頭の上で大きく振り声を出して救助を求める。
7. 審判員以外のライフセーバー等が選手の安全のため競技を中止させることがある。
8. スイム会場でリタイア宣告された選手はスイムエリア内でアンクルバンドを回収いたします。

◆トランジションエリア

1. 選手、スタッフ以外はトランジションエリアへ立ち入り出来ない。
2. トランジションエリアへは配布したバッグに入らない物及び競技と直接関係のない物（クーラーボックス等）の持込は出来ない。審判員が発見した場合はこれを撤去することができる。ペナルティの対象になることもある。
3. 7：25 からバイク競技終了までトランジションエリアを閉鎖する。バイクと競技用具の引き取り時間はおおよそ 12：00 頃（バイク競技終了後）とする。盗難防止のため、ボディーナンバー及びレースナンバーとバイクステッカーを照合して引き渡しを行う。
4. トランジションエリア内でバイクに乗車した場合、ペナルティの対象になることもある。

◆バイク競技　バイク制限時刻

①09：03　海の中道海浜公園／光と風の広場（トランジションエリア・乗車ライン）
②09：15　西サイクリングセンター口　※ 3.9km 地点
③10：00　西サイクリングセンター口（1 周目終・2 周目始）※ 22.2km 地点
④10：15　志賀島入口（往路）※ 26.6km 地点
⑤10：40　志賀島入口（復路）※ 36.1km 地点
⑥10：50　青少年海の家入口 ※ 39.7km 地点

超過選手はそこから審判員の指示のもと一般の自転車通行者としてメイン会場まで戻ります。

1. バイクコースは完全交通規制だが、常に選手には危険回避義務があり、前方及びバイクコース上のマンホール等路面にも十分注意する。緊急車両走行時は、減速し、左側徐行、または、指示に従い停止すること。また、いかなる場合においても緊急車両の追い越しは禁止とする。
2. 走行中は常に自己の安全速度を守る。特にキープレフトを順守し、お互いのドラフトゾーン確保及びブロッキング禁止を厳守する。追い越しは、後方を確認し、声を掛けて右側を追い越すこととし、視界の悪い場所やコーナーでの追い越しは禁止する。また、追い越される選手は走行ラインを変更しない。
3. バイクコース特性を加味し、追い越し時の接触や事故の責務は、常に追い越す選手に課す。
4. バイクコースにはエイドステーションを設けないため、バイクボトルは２本携帯を推奨する。ペットボトルの携帯は禁止とする。
5. ドラフティングは禁止とするが、選手が密集した場合等ドラフトゾーン確保が困難な場合、ドラフトゾーンへの故意でない進入については考慮する。ドラフトゾーンは、バイク前輪の最前部を基点として後方 10 mとする。
6. 不可抗力以外の反対車線へのはみ出しを厳禁とする。
7. バイクコース周回管理は、走行距離計測器により各自で管理する。周回数を間違えた場合は、バイクコースの逆走は禁止とし、順方向に走行してバイクフィニッシュに向かう。なお、周回数が少ない場合は、DNF となる。
8. バイクコースで落下物回収のために停車、逆走することを禁止する。落下物は審判員または大会スタッフが回収し、競技終了後に競技本部にて受け取ることとする。なお、落下物の破損、紛失については主催者は一切責任を負わない。
9. バイクの乗降車は ITU ルールを適用します。

◆ラン競技　ラン制限 13:03　※スイムスタートから５時間後

1. ランコースは完全交通規制されていない。交通規則を遵守し、スタッフに従い、公衆（観客、通行人等）に十分注意する。
2. 走行はキープレフトを順守し、ランコース幅の狭いところは、前方および対向の選手に十分注意し、互いに安全な走行を心掛けること。
3. エイドステーションは１周に２カ所、水のみの簡易エイド２カ所、冷却用の水かけ４、ラン競技中計 12 回通過します。飲み物はコップ渡しの水、経口補水液を基本とする。第三者によるエイドステーション以外における飲み物等の提供は認めない（ただし、緊急時は除く）。
4. 同伴フィニッシュ希望者は、同伴フィニッシュ待機場所より、スタッフの指示に従い、他の選手の競技に影響がないよう配慮すること。

◆スイム時における「レスチューブ」の装着に関するローカルルール

本大会では、スイム競技時の膨張式緊急浮力体（以下「レスチューブ」といいます。）の装着について公益社団法人日本トライアスロン連合競技規則における禁止用具とみなさないこととしましたので、下記のローカルルール等を優先適用します。熟読の上使用されますようお願い致します。

装着に関する事項

●ウエットスーツのほか安全を自分で守るためのものです。泳力に自信のないままでスタートとならないよう、練習に励んで大会に参加してください。

●レンタル又は当日購入の方は大会受付時又はスイム入水までにレスチューブ専用ブースで器具を受取り、装着並びに使用方法について確認してください。

●スイム入水時までに装着を完了してください。

●使用した選手はスイムアップ時に審判員がレースナンバーの確認をしますのでご協力ください。

●器具は、スイムアップ時にレスチューブ置き場を設けますので、そこで取りはずしてください。特に膨張したレスチューブはトランジションに持込めません。なお、レンタル品はレスチューブ置き場で回収します。

使用に関する事項

●ブイ・コースロープ・サーフボード等につかまり休息することと同様に使用することができるものであり、膨張させた器具につかまる等の状態のまま前進することは、もちろんＤＳＱ（失格）となります。

●器具を使用して休憩している際はコース端に寄って静止してください。

●泳力に自信のない方は後方よりスタートすることをお勧めします。

●安全に係る器具です。心身の安全に不安を感じたら記録にこだわらず躊躇せず使用してください。なお、器具の使用に係る固有の事故等について、主催者は責任を負うものではありません。

●膨張した状態で休息する場合、または膨張したままスイムを継続する場合は、他の選手の邪魔にならないよう気を付けてください。

記録に関する事項

●装着しても使用しなかった場合は、装着しない場合と区別せずに計時・順位の記録を行います。

●使用した（膨張させた）場合には計時は行いますが、順位の記録は行わず表彰対象となりません。

●使用した（膨張させた）後、競技を継続しフィニッシュした場合のリザルトの表示は、ＤＮＳ・ＤＮＦ・ＤＳＱとはせず、リザルトには計時記録と「ＲＥＳ」を表示し通常の完走者の次に掲載します。

レスチューブの例

詳しくは web にて確認してください。 www.restube-jpn.com

◆罰則（ペナルティ）

1. 全競技を通じて、審判員（TO［テクニカルオフィシャル］以下、TO という）からペナルティを適用すると指摘された選手は、ランスタート直後に設置されたペナルティボックスで、フィニッシュまでにタイムペナルティを受けてください。タイムペナルティを受けない場合は失格となります。

◆抗議

1. 選手は審判長の裁定や競技環境、他の競技者やスタッフの言動、また自らの違反について、審議委員会に抗議を申し出ることができる。ただし、ドラフティング・ブロッキング・暴言などスポーツマン精神に反する言動には抗議は受け入れられない。
2. 競技者又は審判長は、審議委員会の裁定に対してなお不服な時は、FTU 理事会に上訴を申し出ることができる。また、さらなる不服申し立ては、「スポーツ仲裁規則」に従い解決する。
3. 審議委員は大会技術代表、実行委員会代表、FTU 代表の 3 名で構成され、抗議については速やかに対処する。

◆棄権

競技途中に棄権する場合は、必ず審判員又は係員に棄権を通告してください。もし棄権通告がないと、競技終了後もあなたを捜すことになります。スムーズな大会運営のために、必ず棄権通告をお願いします。

※スイム途中で棄権する場合には、競技を停止し、片手を頭の上で振り、声を出してライフセーバーに救助を求めてください。

※レースナンバーとアンクルバンドをはずし、係員に返却してくだ さい。

◆参加費返金

参加費の返金は一切致しません。荒天による競技種目の一部変更や大会中止による返金に関しても一切致しませんので予めご了承ください。また、申込後に 2019 年度 JTU 会員登録の不備など、その他の理由でも参加料の返金は一切致しませんので、ご注意ください。

◆肖像権

大会に関する肖像権は主催者に帰属します。

※頂いた個人情報は、個人情報の保護に適用される法令を遵守し、選考結果通知及び大会に関する情報の通知手段として使用する以外は、本人の承諾がない限りは使用いたしません。

選手ナビゲーション（前日）

6 月 29 日（土）大会前日のスケジュール

時間	内容	必要事項	注意事項
11:00 ～ 16:30	選手受付 会場／ルイガンズ	・参加通知書持参	・事前にお送りした郵送物の封筒（宛名ラベルが必要です）がないと、受付はできません。
		・リストバンド装着	・リストバンドは 1 日、2 日と大会期間中外さないでください。
		・備品の受け取り スイムキャップ バイク・ラン用レースナンバー トランジションバッグ オリジナル T シャツ 大会プログラム 協賛品 健康チェック表 ボディーナンバーシール 駐車券 アンクルバンド	
15:00 ～ 15:45	競技説明会（①回目） ※初心者はこちらを推奨	・参加義務 ※競技経験者はできるだけ②③の説明会に、初心者はできるだけ①の説明会にご参加ください。　会場／ザ・ルイガンズ	・会場への入場はアンクルバンド＆リストバンド（青）にて確認 ・競技説明会に出席してない選手は、レース当日出場できません。 【大会当日、大会関係者から、出場停止をお伝えします】
16:00 ～ 16:20	競技説明会（②回目）		
16:30 ～ 16:50	競技説明会（③回目）		
17:00 ～ 18:00		ブース出店の観覧や購入 (買い物)	
18:00 ～ 19:30	前夜祭 会場／ザ・ルイガンズ	途中退場有	・会場への入場はリストバンド（ピンク）にて確認 ・同伴者有料　5,000 円／ 1 人 ・できるだけ公共交通機関で、車は乗り合いでお願いします。
19:30 ～	前夜祭終了		駐車場「海ノ中道駅口駐車場」にお願いします。 ※入庫は 18:00 まで。前夜祭終了後は必ず出庫してください。

大会前日までに準備しておくべきこと

健康管理

●大会参加に際しては、充分トレーニングし、事前に健康診断を受診するなど、体調には万全の配慮をしたうえで参加してください。
●前日の飲酒は控え、睡眠を充分にとってください。体調が悪いと感じたら、無理をせず参加を辞退してください。体調や心身の自己管理はレースを行う上でとても大切です。
●主催者は、疾病・傷病・その他の事故に際し、応急処置のみを行いますが、それ以上の責任は負いません。
●安全管理上、審判員または医師・看護師 ・救護スタッフがレース続行不可能と判断した場合は 競技者に対して競技を中止させることがあります。

コースルール等競技内容のチェック

●コース図を確認し、自分自身が走行するルートやトランジションの位置、周回数等を把握しておきましょう。
※競技中、今何周回であるかは大会関係者が教えることはありません。
●レースに出場するための注意事項を事前に把握しておきましょう。
●大会前日の競技説明会への参加は必須です。
説明会に出席されない方は競技に出場できません。

会場までのアクセスルート、時間の確認

●大会当日、会場周辺は大変混雑が予想されます。
●お時間に十分余裕を持って会場にお越しください。受付時間に間に合わない場合は、出走できません。
●スタート前に当日選手受付、トランジションエリア準備を必ず行っていただきます。当日の流れを事前に把握してください。

選手ナビゲーション（当日）

FUKUOKA TRIATHLON 2019

6 月 30 日（日）大会当日のスケジュール

時間	内容	必要事項	注意事項
5:30 ～ A 駐車場 OPEN	海浜公園入場開始 光と風の広場入口	A 駐車場 （光と風の広場駐車場）	・エントリー時に車利用を申告された方は前日の受付時に駐車券をお渡します。当日は必ず持参してください。 ・駐車場は指定の場所へ ・C 駐車場から大会会場までは自転車で 12 分ほど要します。早めに行動してください。
5:00 ～ C 駐車場 OPEN		C 駐車場 （西駐車場）	
5:30 ～7:30	当日受付開始		・入場直後の場所にてナンバーチェック
5:30 ～7:25	トランジションエリア準備 ※ ピックアップ予定 12:00 ～	レース会場トランジションエリアでの準備	・自転車の向きを間違えないようにしましょう。
		ウエットスーツへの着替え	・ウエットスーツは 5㎜以下のスイム＆トライアスロン専用を着用すること。
		スイム会場への移動	・手荷物預かり（着替え等） ※大きな荷物は駐車場内「佐川急便特設ブース」の一時預かりサービスをご利用ください。
7:10 ～	スイム入水チェック		・スイムから上がった後に、眼鏡置き場を用意してます。 ・入水チェック時はアンクルバンドを装着してください。
7:25	トランジションエリア封鎖		
7:20 ～ 7:35	試泳		・約 15 分間のスイム会場試泳ぎができます。※時間厳守
7:40 ～	開会式		
7:55	第 1 ウェーブスタート	スイムスキップの選手は、 大会関係者の指示に従い 8 時 40 分または、8 時 58 分までに 指定の位置に集合。集合しない場合は レースへ出場できません。	・スタートウェーブごとに集合してください。 ・ウェーブ毎にスイムキャップの色分けをする予定です。 （現在調整中）
7:57	第 2 ウェーブスタート		
7:59	第 3 ウェーブスタート		
8:01	第 4 ウェーブスタート		
8:03	第 5 ウェーブスタート		
8:53	スイム制限時刻		・審判の指示に従う　アンクルバンド回収
09：03	バイクスタート制限時刻①	海の中道海浜公園／光と風の広場 （トランジションエリア・乗車ライン）	・審判の指示に従う　アンクルバンド回収
09：15	バイク制限時刻②	「西サイクリングセンター口※ 3.9km 地点」を通過していない選手はレースを続けることができません。	・審判の指示に従う　アンクルバンド回収
10：00	バイク制限時刻③	「西サイクリングセンター口（1 周目終・2 周目始）※ 22.2km 地点」を通過していない選手はレースを続けることができません。	・審判の指示に従う　アンクルバンド回収
10：15	バイク制限時刻④	「志賀島入口（往路）※ 26.6km 地点」を通過していない選手はレースを続けることができません。	・審判の指示に従う　アンクルバンド回収 ・交通規制解除後に一般通行者として会場までお戻りください
10：40	バイク制限時刻⑤	「志賀島入口（復路）※ 36.1km 地点」を通過していない選手はレースを続けることができません。	・審判の指示に従う　アンクルバンド回収 ・交通規制解除後に一般通行者として会場までお戻りください
10：50	バイク制限時刻⑥	「青少年海の家入口 ※ 39.7km 地点」を通過していない選手はレースを続けることができません。	・審判の指示に従う　アンクルバンド回収 ・交通規制解除後に一般通行者として会場までお戻りください
13:03	ラン制限時刻		
	フィニッシュ後	フィニッシュ後すぐに、アンクルバンド (測定器具) を返却 (回収される) 下さい。 フィニッシュ後は、記念品、フィニッシャー手ぬぐいをお渡します。 各自、協賛補給や水分補給を行ってください。	
選手、表彰式	選手、表彰式	レース結果速報の確認 表彰対象者は残っておく	※時間の都合上、表彰対象者で残れない選手は大会本部へ申し出ておく。
解散			

選手ナビゲーション（当日詳細）

5:30 ～ 15:00　更衣室

日　時	6 月 30 日 (日) 5:30 ～ 15:00
会　場	トランジション エリア付近
注意事項	●着替えの際は更衣テント (男女別) をご利用ください。 ●レース中 (前後も含め) は体幹部分の素肌を露出することはコース内、会場内のいずれでも禁止されています。 ●トランジションエリア内に男女更衣テントを設置します。レース中はこちらの更衣テントをご利用ください 。 ●荷物などは、必ず荷物預かり所へ預けてください。 ※貴重品は各自で管理をお願いいたします。

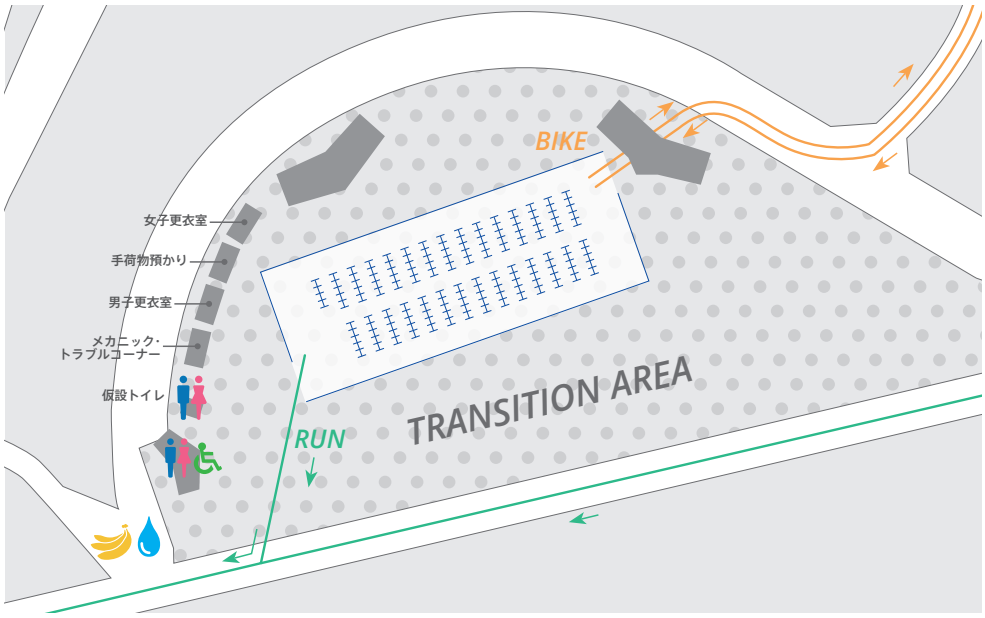
5:30 ～ 15:00　荷物預り所

日　時	6 月 30 日 (日) 5:30 ～ 15:00
会　場	トランジション エリア付近
注意事項	●荷物お預けは、トランジションバッグにレースナンバーが明記されているシールを貼った事を確認し、預けてください。 ※大型の荷物は預けることができません。駐車場にある佐川急便特設ブースの手荷物預かりサービスをご利用ください。 ●荷物お預け、返却の際はナンバーカード、ボディナンバーシールなど本人確認が取れるもののご提示をお願いします。 (貴重品はお預かりできません)

5:30 ～ 15:00　トランジションエリア

トランジションエリアへのバイクの搬入、搬出

(1) トランジションエリアへは、選手本人以外は入れません。
　※ トランジションエリアの出入りにはリストバンド又はレースナンバーの提示が必要です。
(2) トランジションェリアへのバイク搬入時間 6 月 30 日（日）5：30 ～ 7：25
　※ 前日（29 日）からトランジションエリアへバイクを搬入することはできません。
(3) 使用が禁止された用具や競技に直接必要でない物 (着替え､バッグ類､貴重品など) をトランジションエリアに持ち込むことはできません。
(4) バイクはご自分のレースナンバーの貼ってある場所に置いてください。
(5) トランジションエリアからのバイク搬出時間 6 月 30 日（日）12：00 ～を予定しています。
　※競技が終了するまで、トランジションエリアからバイクを搬出することはできません。
　※ 13:30 以降の保管管理は行いません。
　※棄権された方も同様の対応とします。



選手ナビゲーション（当日詳細）

大会会場入場→トランジションエリア→スイム会場まで

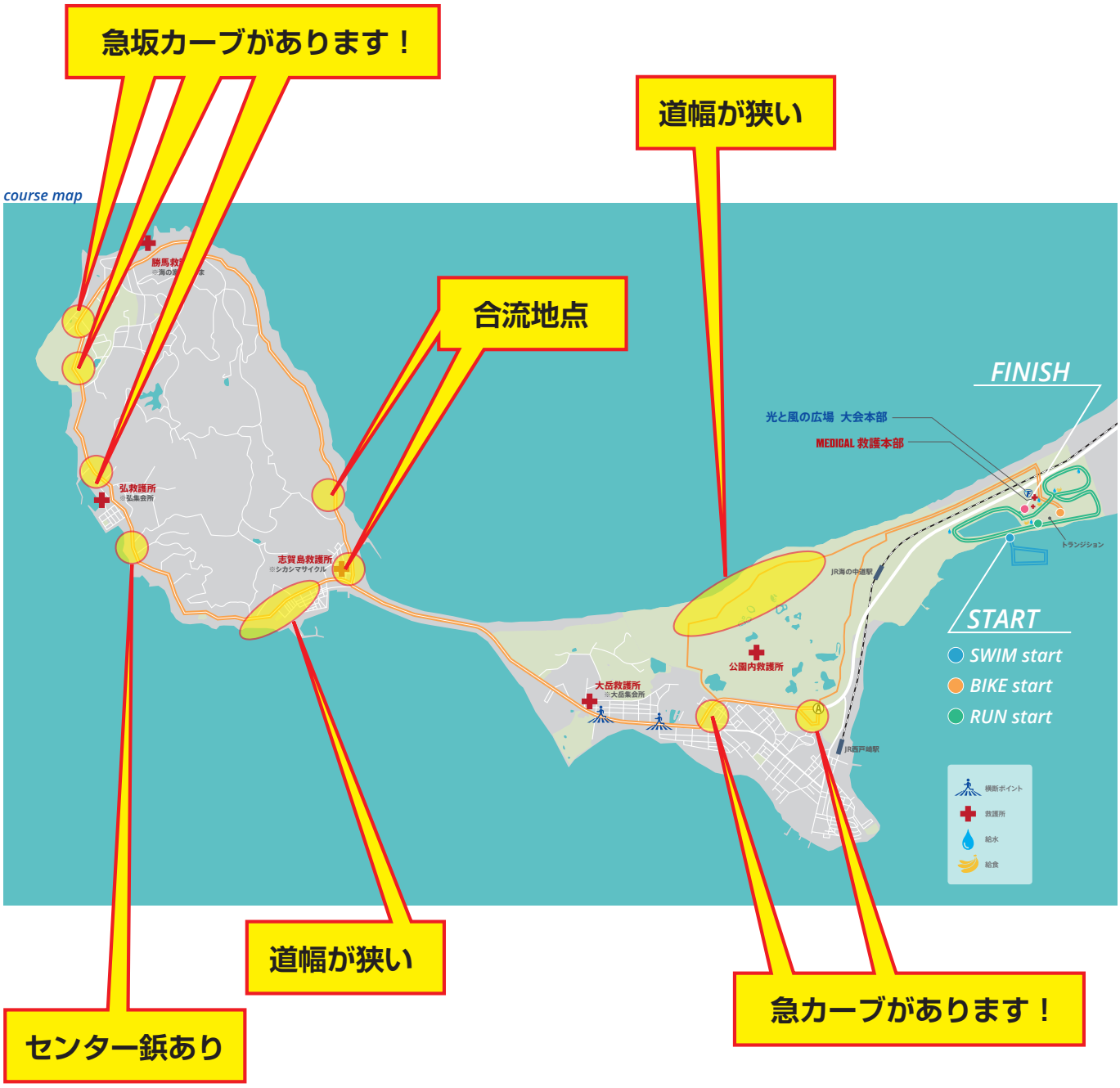
危険ポイント案内

FUKUOKA TRIATHLON 2019

SWIM

危険ポイント案内

BIKE コース : 40km



駐車場案内

駐車場のご利用は事前申し込みの方のみご利用できます。
駐車場整理券は前日受付時、駐車料金の前払い（¥520）にてお引換えいたします。

SPONSER

FUKUOKA TRIATHLON 2019

GOLD SPONSER

福岡トヨタ

OFFICIAL HOTEL

The LUIGANS SPA & RESORT

SILVER SPONSORS

Jwave
九州電力
福岡県中小企業経営者協会連合会
Universal Sports Foundation
三和シャッター
医療法人相生会 福岡みらい病院
FORUM
QTnet
福岡ロジテム
人間の可能性を科学する 竹井機器工業株式會社
西戸崎開発グループ

BRONZE SPONSORS

サニクリーン
九州産業大学 KYUSHU SANGYO UNIVERSITY
新日本製薬
福岡地所
福岡外語専門学校 FUKUOKA FOREIGN LANGUAGE COLLEGE
九州栄養福祉大学 Kyushu Nutrition Welfare University
SPORTS ORIGINAL PRINT TXSPORTS
医療法人 田中会 武蔵ヶ丘病院
博多中洲 味の明太子 ふくや
NCT
BUSINESS reFINE
米建 YONEDA KENSETSU
Life Fitness
三好不動産
にしけい
CAFE COMPANY
SEIKO MEDICAL BRAIN

STANDARD SPONSORS

FUUNDO
Liberal arts
SAEKI JAPAN
Century21
try&...
JR九州
Lean
MASUDA
Matsuyama
HIROTA SHOJI
MIKASA 株式会社ミカサ
ココロがある。コタエがある。西日本シティ銀行
Tukumi Corporation 株式会社匠
Corin
OREC
はたなか
野間薬局
お菓子の株式会社イシカワ
スリーアールグループ 3R GROUP
松本組
一般社団法人 国際先端画像診断 横浜国際画像診クリニック Yokohama International Medical Imaging Clinic.
CASE
セイワパーク
Nishitetsu
人、街、地球を快適に。西部ガス
福岡銀行
とっておきの未来 株式会社未来図建設
英進館
やずや
TOKUSUI
NIPRO
池田歯科大濠クリニック
プロ家庭教師のDIC学園 Do It Chance
全教研
VENTUNO
セムグループ Sehm Group Global Fashion Company
学校法人 国際学園 九州医療スポーツ専門学校
Rotary 博多イブニングロータリークラブ
SENOO SANGYO
Meuble 株式会社モーブル
福岡リゾート&スポーツ専門学校
九州自動車リース

BOOTH SPONSORS

ZIMMER BIOMET
ZING² FUKUOKA-IWAI
博多お好み焼き 一番星
伊藤超短波株式会社
ceepo
Itoi X
スポーツアロマ福岡チーム

MECHANIC SPONSORS

MASAYA
サイクランド シライシ
ZING² FUKUOKA-IWAI

OFFICIAL SUPPLIER

AICHI 愛知電子工業株式会社
Homerun Systems
pepsi
stryker
YASUDA 安田建物管理株式会社
花屋ひより
Campbell Early
ロックに。自由に。TNC
Aji AJINOMOTO
SPORTS CLUB NAS
2XU

SPECIAL THANKS

LOCAL PARTNERS

海鮮浜焼・七輪焼肉いーすと、あずま家、割烹旅館こみね、SHOP ヒロ、浜幸家、まさご屋、満帆荘、和カフェ、上野市兵衛商店、MEGANE CURRY、シカシマサイクル、志賀海神社、佐川急便株式会社、西鉄国際ビジネスカレッジ、福岡リゾート＆スポーツ専門学校、福岡こども専門学校、福岡医健・スポーツ専門学校、福岡中失難聴者支援福祉協会、福岡市視覚障害者福祉協会、福岡市立 清水ワークプラザ、福岡市立 博多障がい者フレンドホーム、福岡市立 ふよう学園、福岡大学病院　喉笛会、明日へ向かって、箱崎翔店、野の花学園グループホーム東、グループホーム轍、共同生活支援住宅さいかい、福岡コロニー、はくちょうの会、福岡ひまわりの里、ひまわり園、福岡ジョブサポート、わたつみの里、ひまわりらんど、FukuokaDANDELION、金隈病院、訪問看護ステーション吉塚、新吉塚病院、貝塚病院、小倉リハビリテーション病院、戸畑共立病院、武蔵ヶ丘病院、桜十字福岡病院、東福間病院、浜の町病院、おきなの杜、小波瀬病院、香椎丘リハビリテーション病院、福岡リハビリテーション専門学校、麻生リハビリテーション大学校、いんちょささき整骨院、かなもり整骨院、グッド鍼灸整骨院、やすらく整骨院、令和整骨院、大福はり・きゅう整骨院、アンダンテ整骨院、やわらぎ鍼灸整骨院　香稚店、彩整骨院、こうじや整骨院、柑堂はりきゅうつぼ治療院、えがお整骨院、リボーン鍼灸整骨院、ひでしま整骨院、徳幸鍼灸整骨院、もりの木整骨院、赤坂整骨院、赤坂整骨院　栄町店、ありあり整骨院、のがみ整骨院、さくら咲く整骨院、たかこ鍼灸整骨院、湯川整骨院平和通り本院、HBC 整骨院　整体院　八代院、くろせ整骨院、大里東やわらぎ鍼灸整骨院、優はりきゅう整骨院、キラリ整骨院、ちはやふるかしい 21 の会、Seiji Itos